



令和8年度
泉ヶ丘こども園

茨城県では先月の7日ごろに梅雨に入りました。先月の台風では強い雨が降り、こども園では各クラスの窓から雨の様子を見たり園庭の水たまりの様子を眺めていました。この日はちょうど青組が水戸森林公園に野外保育に行く予定でしたが雨のため中止に。お家の方が朝早くから作ってくれたお弁当を楽しみにしていた青組さん。「今日は特別に支援センターを借りてそこでお弁当を食べよう」と言うと「やったー!」と大喜び。皆で美味しくお弁当を食べることができました。雨が続くのも気が重いですが、水不足になるのも困りますね。今月中頃からプール遊びを行う予定です。園では「ご飯を作ったり、おやつを作る時にもお水を使うんだよ」「プールは、たくさんお水を使うので水は大事に使おうね」と水の大切さと共に水道の使い方や水の飲み方も伝えています。

これからの季節、水遊びやプール遊びをしたり、気温の様子を見ながら朝夕や日中、戸外に出て外の空気に触れながら遊び、丈夫な体をつくっていきたいと思います。こどもにとって汗をかくことは、体温調節機能を高め、暑さに強い体質を作っていく、熱中症予防にもつながります。汗腺は3歳頃までに完成されます。汗をかかせない生活ではなく、冷房の中でも少しだけ汗ばむ程度が良いと言われています。

<お家の方へ>

髪が長くても結ばずに登園するお子さんが見られますが、食事の際に髪が食べ物の中に入ってしまったたり活動によっては髪が邪魔になっていることがあります。また、これからの季節は汗もかきやすく、髪が汗で顔や首に張り付いて不快を感じたり、あせもの原因にもなります。結ぶ際は、頭部の上半分や一部のみではなく、髪全体をまとめて結ぶようにしてください。

<気を付けましょう>

★朝夕の送迎の際、お子さんが自分で車のドアを開け、一人で車から降りたり乗ったりしていませんか？

こども達は大きくなると一人で乗り降りができるようになっていきますが、朝夕の駐車場は車の出入りがあったり、園前の道路は交通量が多い道路となっています。昨年、他県で朝の登園時、保護者と少し離れて一人で歩いていた1歳の子が、別の保護者が発進した車にはねられて死亡したという心痛い事故の報道がありました。車から降りる際はお家の方がドアを開けて降ろし、必ず手をつないで園内に入ってください。帰りは手を繋いで帰り、お家の方が車に乗せてからドアを閉めましょう。

★少しの時間だからと、車内にお子さんだけを残して離れたりすることはありますか？ 特に暑い時期、短時間でも車内は高温になり熱中症になる危険があります。また、乗車の際、お子さんにキーを持たせたために、中からロックが掛かってしまい、お子さんだけが車内に残され業者を呼ばないとドアが開けられない状況になった例もあります。大人の意識・行動がお子さんを守ります。気を付けましょう。